

所管事務調査報告

総務文教常任委員会

令和4年12月1日

調査事項	1. 市役所本庁舎環境改善事業について 2. LABV プロジェクトについて 3. 山口東京理科大学グラウンド等整備事業進捗状況について
調査日時	令和4年9月16日午前9時から
調査によって明らかになった事項	1. 市役所本庁舎環境改善事業について 耐震改修事業完了後の環境改善事業のうち、今年度から来年度にかけては、内装や空調の改修工事を行う。当初は令和4年10月着工予定であったが、入札不成立により、12月下旬に着工し、令和6年3月を工期末と予定している。着工の遅れから各部署の執務スペースの移動が遅れるが、工事の順序や移動の順番は変えずに、繁忙期を考慮し、業務を継続しながら事業を進められるよう調整している。 2. LABV プロジェクトについて 開発準備行為のため、令和4年6月30日に代表社員となる株式会社合人社計画研究所1者にて「山陽小野田 LABV プロジェクト合同会社」を立ち上げた。この度、定款や出資金の額などの調整が図られたため、当初の予定どおり9者が社員になる。商工センターの建物の解体は、年内の完了を見込んでいる。 3. 山口東京理科大学グラウンド等整備事業進捗状況について 大学の必置施設であるグラウンドの整備事業については、市内業者の株式会社イノウエが1億2,430万円で受注しており、令和4年11月末に完成予定。駐車場・テニスコート整備事業についても、株式会社イノウエが4億4,990万円で受注しており、令和7年3月末完成予定。来春開設する数理情報科学科の教室棟整備事業については、当初上限価格を8億円としていたが、資材価格の高騰等により、この価格のままでは実施困難と

	<p>判断し、上限価格 11 億円で、再度、整備事業者を募集し手続中である。大学の積立金等に対応予定であったが、上限価格の見直しにより、今後、市の予算措置が必要となる可能性がある。</p>
今後の委員会の対応又は結論	<p>3 事業とも、今後の進捗を注意深く見守っていくことが重要であり、必要に応じて所管事務調査を行っていく。</p>

<p>調査事項</p>	<p>1. LABV プロジェクトについて 2. きらら交流館について 3. 山口東京理科大学グラウンド等整備事業について</p>
<p>調査日時</p>	<p>令和4年11月18日午前9時20分から（現地視察）</p>
<p>調査によって明らかになった事項</p>	<p>9月の所管事務調査の続きとして、進捗状況等を現地にて確認した。</p> <p>1. LABV プロジェクトについて 商工センター解体工事については、予定どおり進んでいる。その他の場所（中央福祉センター、高砂用地）は、事業予定地を現地確認した。</p> <p>2. きらら交流館について 現在稼働中のきらら交流館の室内外及び周辺の整備予定地を現地踏査した。</p> <p>3. 山口東京理科大学グラウンド等整備事業について 整備中のグラウンド及び数理情報科学科の教室棟建設予定地等を現地踏査した。教室棟の整備は嶋田工業株式会社が受注している。</p>
<p>今後の委員会の対応又は結論</p>	<p>LABV 事業の商工センターは、予定どおりの進捗である。 きらら交流館、山口東京理科大学の整備事業についても、必要に応じ、今後とも所管調査を行う。</p>